

# 防災ボランティア情報

発行：平成20年3月 愛知県防災局防災危機管理課

## 平成19年度 防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座

いまや大規模な災害時には、ボランティアの力が不可欠となっていますが、被災地の住民とボランティアとの間を調整するのも大きな課題。ボランティア支援本部等において、この調整に大きな役割を果たすのが、ボランティアコーディネーターです。

愛知県では毎年コーディネーターの方の資質向上を目指すための「フォローアップ講座」を行っており、毎年多くの方に参加していただいています。(今年度の参加者は457名でした。)

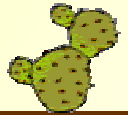
今年の講座では、トヨタボランティアセンターの鈴木盈宏さんの講義「災害時のボランティアコーディネーション」が行われました。

また、地域支援本部設置のデモンストレーションを行い、その問題点についての話し合い・発表や、グループごとに支援本部役・ボランティア役・見学役に分かれ、ボランティア支援本部設置の模擬演習などが行われました。会場では、熱心に演習に取り組み活発な議論を行う参加者の皆さんの姿が見られ、多くの方から有意義な研修であったという声が寄せられました。



1月13日 尾張会場の様子

## 「防災ナマズンのハンドブック」が出来ました！



昨年11月に開催された「あいち防災協働社会推進大会2007」において愛称が発表されて以降、愛知県のホームページや印刷物等に登場している愛知県の防災キャラクター、「防災ナマズン」。

この度、この防災ナマズンのハンドブックが出来ました。

内容は、「知っておきたい救命措置(傷病者がいたら?胸部圧迫の行い方は?)など」、「警戒宣言時の対応(鉄道・地下鉄は?病院は?など)」といった、いざという時に知っておくと、役立つ情報が掲載されています。

冊子型のパンフレットを普段持ち歩くのは、かさ張ってなかなか大変ですが、このハンドブックは両面印刷すれば1枚に収まるコンパクトなもので、携帯するのにも便利です。

防災ナマズンのハンドブックは今後、県のイベントで配布する予定ですが、県のホームページに掲載されているデータを利用し、家庭用プリンター等で印刷していただくことができます。

<http://www.pref.aichi.jp/bousai/index.html>

各家庭で災害に備える・その他

愛知県防災局トップページ

防災ナマズンのハンドブックPDFデータ



## もくじ

防災ボランティア コーディネーター フォローアップ講座	1
防災ナマズンの 「ハンドブック」が 出来ました!	1
防災&ボランティア フォーラム2008	2・3
・「ハウジング&リフォーム あいち2008」 開催のお知らせ ・「防災フェスタ2008 in みなと」 開催のお知らせ	3
お役立ちホーム ページ 紹介	4

# 防災 & ボランティアフォーラム 2008



オアシス21全景

平成20年1月20日(日)、栄のオアシス21とNHK名古屋放送センタービルにおいて「防災 & ボランティアフォーラム2008」が開催されました。

このイベントは、県内でボランティア活動を行う団体や、災害時に大きな役割を担う企業等が集まり、県民の方に「災害に対する備えてどんなことをしたらいい?」、「被災時にはどんな行動を取ればいい?」、「災害に対してのボランティア活動ってどんなことをするんだろう?」など、防災やボランティアに関することを広く知ってもらうことを目的としています。

「防災 & ボランティアフォーラム」は、阪神・淡路大震災をきっかけに制定された「防災とボランティア週間」(毎年1月15日から21日)に合わせ開催され、今年で7回目を迎えました。

当日は曇り空の、寒い天候の中での開催となりましたが、例年に劣らず、会場は多くの方で賑わいました。



## オアシス21 会場



オアシス21会場では、ボランティア団体や、企業のブースが展開され、また、会場のステージでは、オープニングセレモニーや紙芝居・コントなどが行われました。



チャレンジ! 応急手当  
(日本赤十字愛知県支部)

「集まれ防災ボランティア」のコーナーでは、愛知県内で活動しているボランティア団体に、地元市町村の社会福祉協議会の協力のうえ参加していただきました。また、各団体個別の活動紹介や防災啓発の企画とは別に、「集まれ防災ボランティア」ブースとしての企画も運営。その一つとして、来場の方に新潟県中越沖地震等の被災者へのメッセージカードを書いていただきました。



中越沖地震の被災者の方へ  
励ましのメッセージ

### ステージでは・・・

ステージでは、開会セレモニーをはじめ、クイズや人形劇などのイベントが行われました。

「一般の方に、より防災に関心を持ってもらうために」ということを考えながら練られた企画の数々に、こどもから大人まで、参加した皆さんが楽しみながら防災について学んでいる様子が伝わってきました。



こどもフォーラム・防災人形劇  
(劇団ミニ天井)



コント・防災ファッションショー  
(なごや災害ボランティア連絡会)

## NHK名古屋放送センタービル 会場

NHK放送センタービル1階の「プラザウェーブ21」においては、タレントの山田花子さんを迎え、ラジオの公開生放送や、防災バラエティクイズが開催されました。

公開生放送では、地震に対する家庭や地域での備え、ボランティアの役割などを、漫才をまじえて楽しく、分かりやすく紹介するフォーラムを開催。防災バラエティクイズでは、昨年、愛知県で作成した防災啓発DVD「あっ！どうする？ そうなる前の防災対策」を見ながら、ポイントごとに出题されるクイズに答えたり、実験に参加したりと、楽しみながら防災の知識を身につけるイベントが行われました。

また、屋外では愛知県警の災害対策車両の乗車体験が行われ、普段目にする機会の少ない特殊な車に、来場者の関心が集まりました。



災害対策車両(愛知県警)

## 「ハウジング&リフォームあいち2008」開催のお知らせ



平成20年3月14日(金)・15日(土)・16日(日) 10時～17時 吹上ホール

「ハウジング&リフォームあいち2008」は、「住まいと暮らし」をテーマに、住まいに関する様々な情報の提供を目的として開催され、家づくりに関する相談会や、楽しく参加できる親子大工教室・インテリアアート教室なども開かれます。

展示内容には、「地震に強い住まい・まちづくり」と題した、地震に関する取り組み事例の紹介・体験型のイベントもあります。昨年秋に新しくなった地震体験車「なまず号」での地震体験、その他、地震に関するシンポジウムや、耐震診断・耐震改修についての展示・ビデオ上映なども行われます。



新型なまず号で地震を体験

問い合わせ先:ハウジング&リフォームあいち2008事務局

TEL:(052)561-5675

ホームページ: <http://www.chukei-news.co.jp/housing2008/>

## 「防災フェスタ2008inみなと」開催のお知らせ



平成20年3月29日(土) 10時～16時 港区役所講堂・名古屋市港防災センター

昨年3月に、市民・大学・企業・行政など、多くの人の相互協力により開催された「防災フェスタ」が、名古屋市で最も大きな被害が予想される港区において今年も開催されることになりました。

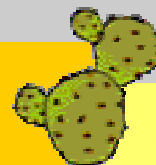
当日は、開催場所である港区の災害危険度・地域防災力向上の秘訣を皆で考える討論会が行われ、体験コーナーでは、いざ火事という時に役立つ煙避難体験、非常食の試食や被災地のオアシスである「足湯」の体験ができます。また、「防災運動会」のコーナーでは、堅い印象のある防災訓練を水パック投げや大声競争などの楽しい競技にして参加することができます。

問い合わせ先:なごや災害ボランティア連絡会事務局

(名古屋市 市民経済局地域振興課内)

TEL:052-972-3120

# お役立ちホームページ紹介



震災を体験して あの時役に立った私の知恵 ~神戸からのメッセージ~

神戸市震災資料室

<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/15/010/idea/index.html>

日本人の地震に対する意識を変えたとも言える阪神大震災から13年。東海地区でも、近い将来大きな地震が来る可能性があると言われ、漠然とした不安を抱えた方は多いと思われます。

このサイトは神戸市が平成11年に募集した「震災復興を通じて得た知恵・アイデア」に寄せられたメッセージを編集したものです。

日頃の防災対策のアイデアのみならず、震災直後に火災の発生や延焼を防ぐためにどんな行動をとったか、不通になった水道の代わりにあるものを代用した話など、阪神大震災の被災者の方々の体験・そこから生まれた知恵やアイデアが数多く掲載されています。



## 災害伝承情報データベース



<http://www.saigaidensho.soumu.go.jp/>

日本では、古来から各地で多くの災害が発生してきました。

自分の身近な地域で起きた災害・・・例えば、伊勢湾台風を経験した人は、今でも当時の恐ろしかった状況を思い出し、他の人にその経験を語ることが出来ます。しかし、他の地方で起きた過去の台風の災害について知りたいと思ったときはどうでしょう？

全国には、過去の災害についての記録、文書・写真・絵画、または言い伝えや物語といったかたちで伝えられているものが多く残っていますが、こういった資料を探すのはなかなか難しいものです。

消防庁では平成16年度から18年度にかけて、こういった全国の災害の「記憶」を集約し、ホームページ上において公開をしています。10世紀以前の古いものから、近年の記憶に新しいものまで、地震・津波や火山噴火など多くの過去の災害について知ることが出来ます。

「防災ボランティア情報」は愛知県防災局のホームページにも掲載しています。

<http://www.pref.aichi.jp/bousai/volunteer/volunteernews.pdf>

愛知県防災局防災危機管理課 啓発・育成グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

TEL 052-954-6191 (ダイヤルイン)

FAX 052-954-6911

E-mail bosai@pref.aichi.lg.jp

